

泊村老人ホームむつみ荘広報

# アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202  
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3  
社会福祉法人 黒松内つくし園  
泊村老人ホーム むつみ荘  
TEL (0135) 65-2255  
発行責任者 施設長 高橋 英俊  
編集発行 むつみ荘広報委員会

## かぼちゃ料理で免疫力UP!!

秋も深まり、むつみ荘の畑も収穫の時期がやってきました。養護では畑で収穫したかぼちゃと御家族からいただいたかぼちゃを使い、利用者と一緒にかぼちゃ粥を作りました。食べやすい大きさに切った後、下ゆでをして、塩と出汁のみを使ったシンプルな味付けで、毎回大好評なメニューです。作ったかぼちゃ粥は夕食に提供され、利用者は「やわらかいしホクホクしていて美味しいね。」「これならたくさん食べられる。」と美味しい食事に、会話も弾み賑やかな食

卓となりました。頂いたかぼちゃは一度では使いきれず、サラダやかぼちゃ団子にして食べ、こちらも利用者に好評でした。かぼちゃには免疫に関わる栄養素がたくさん含まれており、ウイルスや細菌の侵入を防ぐ働きがあったり、粘膜の乾燥を防いでくれるなどこれから季節に必要な栄養がたくさん含まれています。寒い日が続き体調を崩しやすくなる季節ですが、栄養たっぷりのかぼちゃ効果で元気に笑顔で過ごしてほしいです。



## 職員募集!!

~老人ホームと一緒に働きませんか~

むつみ荘では、機能訓練指導員・看護師を募集しております。施設の仕事に興味ある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

- ・シフト制（パート勤務可）

●資 格●

【機能訓練指導員（特養）】

- ・作業療法士、理学療法士、言語聴覚士 等

【看護師（特養）】

- ・正看護師・准看護師

<連絡先>

0135-65-2255 (担当:高橋)



## 秋の味覚を堪能

9月22日ご家族より大根と枝豆を頂き、豆を枝から外す作業を利用者と一緒に行いました。ぎっしり詰まっている豆を見て、「むつみ荘の畑のより実入りがいいね！」と喜ばれていました。作業をしながらどのようにして食べるか話し合い、茹でておやつとして食べたり、丁寧

に皮を取り枝豆ご飯にして食べました。大根は金平やなますにして、おかずとして提供され食卓が華やかになりました。

作業している時の利用者は、イキイキとしていて楽しそうで、それを見ている職員も「一緒に作業して良かった」と職員にとってもいい時間となりました。



## 自分で選ぶ昼食に喜びの声

現在、感染予防で外出や外食等も出来ない中、ゆらりユニットではいつもと違った事が出来たらと、コンビニ弁当の出前を企画しました。事前にコンビニ商品のメニュー表を見て、利用者一人ひとりに食べたい物を聞き取りし、それぞれ自分で選んだものを食べて頂きました。当日はテーブルの配置を変え、い

つもとは違う雰囲気を楽しんで頂きました。中には「毎週これやろうよ」と言われる方もおり、「いつもと違って良い」「こういうご飯もたまには良いね」と、皆さん喜ばれておりました。外出や面会が出来ない中、いつもとはちょっと違った1日を過ごすことで、皆さんに楽しんでもらえました。



## 職場でのハラスメント防止研修

10月20日法人本部人事事務長によるハラスメント研修が行われました。資料を見ながらセクシャルハラスメント、妊娠・出産等に関するハラスメント、パワーハラスメントを中心に研修を行いました。『パワハラ』や『セク

ハラ』という言葉は浸透してきていますが、それ以外にもたくさんの種類があります。そのほとんどが、相手の立場や気持ちを考え思いやりを持った言動や行動で防げるものです。職員1人1人の意識の持ち方で、安心して働く職場環境に繋がると思います。むつみ荘では様々な研修を月に1回行い、より良い介護が出来る様取り組んでいます。



御家族様よりかぼちゃを寄贈していただきました。利用者と職員で美味しいいただきました。

ありがとうございました。  
ありがとうございます。



## 衆議院議員選挙期日前投票

10月26日衆議院議員選挙の期日前投票が選挙管理委員1名、泊村役場職員1名の立会いの下、むつみ荘で行われました。今回の投票は、養護・特養合わせて約30名の利用者が投票に参加され、少し緊張した様子でそれぞれ大切な1票を投票されていました。

## ★面会等についてのお願い★

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され道内の感染者数は減少しておりますが、当施設では引き続き緊急時を除く入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止とさせていただいております。ご家族の皆様には何かとご心配並

びにご心労をおかけしておりますが、むつみ荘としましては、「警戒ステージ1」になるまでは引き続き通常通りの面会は行わない旨決定致しましたので、ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力を宜しくお願ひいたします。

## 施設長雑感

“収穫の秋”の真っ只中、様々な旬の味覚が楽しむことができる季節となりました。本施設では、10月は“お寿司”、11月は“新そば”を食していただく機会を設け、変わりゆく季節を体感できる行事を実施しているところです。また、今年も昨年同様、農作物など、ご家族の皆様から数多くの寄贈をいただき、改めまして感謝申し上げます。しかしながら一方で、最低気温がマイナスとなる日も始め、初冠雪も観測されるなど、厳しい冬の到来を予感する季節になりました。今後、冬場に向かうに従って、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の流行が危惧されますことから、本施設では、例年同様、今月、インフルエンザワクチンの接種を実施するなど、新型コロナウイルス感染症も含めた感染症予防対策に万全を期して参りたいと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症についてですが、北海道でも新規感染者数が一桁になるなど、新規感染者の減少傾向

が継続しており、警戒ステージが“2”（10月25日現在）まで下降し、さらに先月からは、飲食店への時短要請の緩和や新しい旅のスタイルの実施など、経済活動の回復が顕著になってきておりますが、最近では、後志管内の老人ホームでクラスターが発生（ブレイクスルー感染）するなど、予断を許さない状況でもあります。これらを踏まえ、本施設では引き続き、手指消毒、三密の回避やソーシャルディスタンスの確保などのコロナ対策を進めて参る所存です。

終わりになりますが、このまま新規感染者や病床利用率の減少傾向が続ければ、面会等の緩和の目安としております“警戒ステージ1”になる日も近いものと思われます。引き続き、利用者様・ご家族及び関係機関の皆様におかれましては、ご理解・ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



泊村老人ホームむつみ荘  
施設長 高橋 英俊